

令和8年度 事務事業評価シート（1）

[令和7年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	路面電車活性化事業				事業番号	017-013
担当部署名	建築都市局	局	交通部	部	交通政策課	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5. 強しなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs未来都市計画2021-2025	施策との関連	有・無	指標名	—	目標値	—
			有	現状値	—	目標値	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	目標値	—

2	関連計画	堺市地域公共交通計画		
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱 堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金交付要綱・堺市路面電車施設高度化事業費補助金交付要綱		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	沿線住民や通勤・通学者、来街者などの阪堺線・上町線利用者。7,605,224人（令和7年度年間利用推計者数）		対象数	7,605,224	単位	人
7	事業の目的	阪堺線堺市内区間の軌道施設の改修等が実施されることにより、保安度の向上を図る。 設備の高度化を促すことにより、利用者の利便性向上を図り、阪堺線の利用者数の増加を図る。					
8	事業内容	阪堺電気軌道（株）に対し、阪堺線の軌道施設の改修や施設の高度化等のための経費を補助する。 ■ 令和7年度の実施内容 ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金（施設・車両の装置の更新、車両検査） ・路面電車施設高度化事業費補助金（第4種踏切の第1種化、踏切照明のLED化、停留場の美装化） ■ 令和8年度の実施内容 ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金（軌道・車両の装置の更新、車両検査） ・路面電車施設高度化事業費補助金（堺トラム車内灯及び併用軌道横断歩道部照明のLED化、停留場の美装化） 速達性の向上、交通モード間の連携、停留場環境の向上、バリアフリーの推進、施設・車両の更新、情報発信等、利便性及び安全性の向上、利用者の拡大にかかる検討を実施し、阪堺線の活用による面的な移動環境の形成を図る。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	—					
9	主な支出先	阪堺電気軌道株式会社、建設コンサルタント会社等					
10	公民連携・協働事業	—					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
	阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
			目標値	7,382,107	7,382,107	7,708,465	8,070,499
			実績値	7,374,677	7,605,224		
			達成率	100%	103%		
	当該指標を選定した理由	当事業の目的である「阪堺線の利用者数の増加」を成果指標とする					
	目標値の設定根拠・算出方法	R12年度をR1比100%とし、毎年約9万人回復することを目標とする					
12	活動指標	単位		実績		目標	
	老朽化対策実施箇所	箇所		令和6年度	令和7年度	令和8年度	
			目標値	1	1	2	
			実績値	1	1		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	老朽化対策を実施することで安全安心な路線が確保されることにより、保安度の向上を図るため					
	目標値の設定根拠・算出方法	要対策箇所より設定					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		路面電車活性化事業				事業番号		017-013	
-------	--	-----------	--	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。(単位：千円)

13	財源内訳	事業費 (a)	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		決算		決算		当初予算		当初予算	
		24,931		23,832		47,655		42,272	
		36,396		0		0		0	
		0		0		0		0	
		0		0		0		0	
		0		0		0		0	
		0		0		0		0	
	1,040		2,250		36,345		2,230		
2,796		0		0		0			
0		0		0		0			
23,891		21,582		11,310		40,042			
33,600		10,980		11,370		12,960			
10,790		35,911		35,202		60,615			
55,232		47,186							

事業費の内訳 (単位：千円)

16	事業費内訳	項目	年度		事業費		うち一般財源	項目	年度		事業費		うち一般財源
		鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金	R7	決算	12,306	12,306			R7	決算			
			R8	予算	21,250	21,250			R8	予算			
		路面電車施設高度化事業費補助金	R7	決算	14,580	12,350			R7	決算			
			R8	予算	8,046	5,250			R8	予算			
		阪堺線活性化検討支援業務委託料	R7	決算	15,291	15,291			R7	決算			
			R8	予算	7,000	7,000			R8	予算			
		廃棄物処理・運搬等委託料	R7	決算	95	95			R7	決算			
			R8	予算	100	100			R8	予算			
			R7	決算					R7	決算			
			R8	予算					R8	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区分	単位	令和6年度	令和7年度
	① 阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	7,374,677	7,605,224
	② 上記①にかかる年間経費	千円	21,582	40,042
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	3	5
	算出についての説明等		②は事業費のうち、一般財源の金額	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金により老朽化対策を実施し、施設の安全性を確保した。また路面電車施設高度化事業費補助金により、施設の高度化を促進した。なお、路面電車施設高度化事業費補助金には財源の一部に寄附金を活用している。
	年間利用推計者数の増加につれ、各種補助金に加えて阪堺線の活性化に向けた検討支援業務の委託発注により、前年度と比較して事業費が増えたため、単位当たりの経費は増加したが、阪堺線のさらなる利用者の利便性の向上、安全性の向上、利用者拡大につながる取組検討を進めた。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	阪堺線の維持確保・活性化、交通ネットワークの構築に向けて、阪堺線堺市内区間の軌道施設の改修等による施設の安全性の向上に取り組んだ。本事業によって安全性の向上並びに利用者の利便性の向上が図られており、阪堺線利用者数の増加に寄与しているものとする。
----	--

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）

20	必要性	■ 高い □ 低い	新型コロナウイルス感染症により利用者数が大きく落ち込み、交通事業者の経営環境が厳しい状況に置かれる中、本事業を通して軌道施設改修等の老朽化対策で安全性の向上、施設高度化により、利用者の利便性向上を図った。利用者数は令和3年度以降増加傾向で、コロナ禍前の利用者数に回復しつつあり、これらの支援が利用者数の増加や路線の維持確保に寄与しているものとする。
	有効性	■ 高い □ 低い	